

こんにちは  
魚沼市議会です



令和3年第3回定例会 No.75



「祭り」小出中学校 3年 小島里紗さん

## CONTENTS

定例会・補正予算・議案賛否の状況 … 2～3  
令和2年度会計決算・コロナ予算の特集 … 4～5  
決算審査特別委員会質疑 … 6～8

聞かせて！あなたの声「Voice」 …… 9  
一般質問 …… 10～17  
常任・特別委員会報告 …… 18～19  
市民の声・わが校自慢・あしがき …… 20

〈発行責任者 議長 関矢孝夫〉 広報広聴特別委員長 大桃俊彦 副委員長 大平恭児  
委員 横山正樹 浅井宏昭 遠藤徳一 渡辺一美

## 第3回定例会報告

令和3年第3回定例会が9月9日から10月4日までの26日間の会期で開催されました。

今定例会では、補正予算関係3件（一般会計2件、介護保険特会1件）、条例関係2件、その他案件として市道路線の認定及び変更の2件が提案され、いずれも原案可決となりました。

また、令和2年度会計決算の認定9件（一般会計、特別会計、企業会計）も提案され、9月27日から3日間に渡り令和2年度会計決算審査特別委員会を開催し、審査しました。次年度以降の予算に反映すべく白熱した議論が展開され、いずれの会計も認定すべきものと決定しました。詳細は6ページ「決算審査特別委員会Q&A」を参照ください。

請願、陳情関係ではコロナ禍における生活困窮者に対する食料支援に関する請願、私学助成に関する陳情が提出されましたが、不採択となりました。討論について、詳細は8ページを参照ください。

## 第3回定例会補正予算

|                                 | 補正前の額       | 補正額       | 計           | 主 な 内 容  |
|---------------------------------|-------------|-----------|-------------|--|
| 令和3年度魚沼市一般会計補正予算（第5号）<br>（専決処分） | 295億4,440万円 | 1億5,500万円 | 296億9,940万円 | 県からの時短要請にともなう飲食店等への協力金の支給など  |
| 令和3年度魚沼市一般会計補正予算（第6号）           | 296億9,940万円 | 5億4,100万円 | 302億4,040万円 | 新型コロナウイルス感染症対策関連の取組経費、魚沼特使連携魅力発信業務委託、旧小出庁舎解体工事設計業務委託、公共交通連携実証運行補助金など |
| 令和3年度魚沼市介護保険特別会計補正予算（第1号）       | 50億4,400万円  | 1億8,350万円 | 52億2,750万円  | 令和2年度会計の決算に伴う歳入・歳出の追加  |

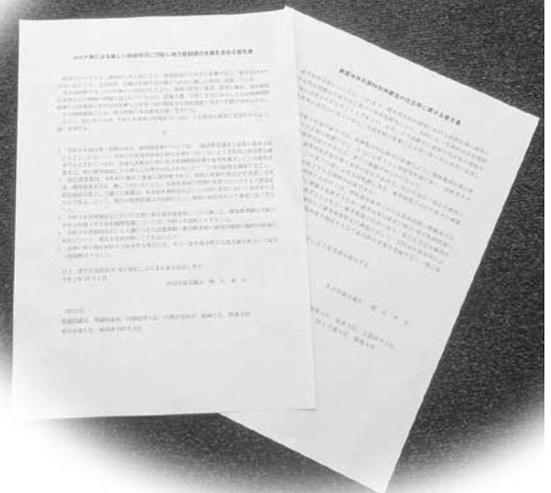
## 魚沼市議会として 2件の意見書を 国へ提出しました

### 「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書」

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地方財政は引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面しています。コロナ禍への対応、防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など、将来に向けて増える財政需要に見合う財源が求められます。その財源確保のための地方税制の充実確保を望む意見書を国へ提出しました。

### 「豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書」

特別豪雪地帯における道路、学校等の整備を促進するため、豪雪法の特例措置の延長を講ずるとともに、豪雪地帯の住民の安全な生活を確保するため、財政支援制度を創設するなど、総合的な対策を実施するよう、意見書を国へ提出しました。



# 第3回定例会議案等

◎=全会一致 ○=賛成多数で可決・承認・採択・同意、適任 ×=否決・不採択・不承認

| 議案番号等  | 付議事件   | 議決結果 |
|--------|--|------|
| 議案第84号 | 令和2年度魚沼市一般会計決算の認定について                        | ◎    |
| 議案第85号 | 令和2年度魚沼市国民健康保険特別会計決算の認定について                  | ◎    |
| 議案第86号 | 令和2年度魚沼市後期高齢者医療特別会計決算の認定について                 | ○    |
| 議案第87号 | 令和2年度魚沼市介護保険特別会計決算の認定について                    | ◎    |
| 議案第88号 | 令和2年度魚沼市工業団地造成事業特別会計決算の認定について                | ◎    |
| 議案第89号 | 令和2年度魚沼市病院事業会計決算の認定について                      | ◎    |
| 議案第90号 | 令和2年度魚沼市ガス事業会計決算の認定について                      | ◎    |
| 議案第91号 | 令和2年度魚沼市水道事業会計決算の認定について                      | ◎    |
| 議案第92号 | 令和2年度魚沼市下水道事業会計決算の認定について                     | ◎    |
| 議案第93号 | 専決処分の承認を求めることについて<br>(令和3年度魚沼市一般会計補正予算(第5号)) | ◎    |
| 議案第94号 | 令和3年度魚沼市一般会計補正予算(第6号)                        | ◎    |
| 議案第95号 | 令和3年度魚沼市介護保険特別会計補正予算(第1号)                    | ◎    |

| 議案番号等  | 付議事件   | 議決結果 |
|--------|--|------|
| 議案第96号 | 魚沼市税条例等の一部改正について<br>(地方税法等の改正による個人市民税の非課税の範囲を明確にする規定の整備等に伴い、所要の改正を行うもの)          | ◎    |
| 議案第97号 | 魚沼市長寿祝賀条例の一部改正について<br>(市外の老人福祉施設等に入所又は入居をする住所地特例対象被保険者にも長寿祝金等を支給するため、所要の改正を行うもの) | ◎    |
| 議案第98号 | 市道路線の認定について  | ◎    |
| 議案第99号 | 市道路線の変更について  | ◎    |
| 請願第4号  | コロナ禍に苦しむ人々に食料を支援する施策を求める請願   | ×    |
| 陳情第1号  | 「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書」の採択を求める陳情                | ×    |
| 発議第6号  | コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について   | ◎    |
| 発議第7号  | 豪雪地帯対策特別措置法の改正等に関する意見書の提出について  | ◎    |

# 議案賛否の状況

賛否が分かれた上表の網かけの議案等について掲載

○=賛成 ●=反対 △=棄権 欠=欠席 --=除斥 ※=議長は議決に加わりません。

| 議案番号等  | 議決結果 | 合計 |    | しんせいクラブ |        | 日本共産党 |       | みらいの風 |       |        | 緑 晴 会 |       |      | 魚沼大地クラブ |      | 会派所属なし |       |      | 関矢 孝夫 |       |        |
|--------|------|----|----|---------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|------|---------|------|--------|-------|------|-------|-------|--------|
|        |      | 賛成 | 反対 | 渡辺 一美   | 富永 三千敏 | 大平 恭児 | 佐藤 達雄 | 大桃 俊彦 | 浅井 宏昭 | 星野 みゆき | 森島 守人 | 佐藤 敏雄 | 佐藤 肇 | 本田 篤    | 志田 貢 | 横山 正樹  | 桑原 郁夫 | 星 直樹 |       | 遠藤 徳一 | 高野 甲子雄 |
| 請願第4号  | 不採択  | 3  | 14 | ●       | ●      | ○     | ○     | ●     | ●     | ●      | ●     | ●     | ●    | ●       | ●    | ●      | ●     | ●    | ●     | ○     | ※      |
| 陳情第1号  | 不採択  | 4  | 13 | ●       | ●      | ○     | ○     | ●     | ●     | ●      | ●     | ●     | ●    | ●       | ○    | ●      | ●     | ●    | ●     | ○     | ※      |
| 議案第86号 | 原案可決 | 15 | 2  | ○       | ○      | ●     | ●     | ○     | ○     | ○      | ○     | ○     | ○    | ○       | ○    | ○      | ○     | ○    | ○     | ○     | ※      |

# 魚沼市議会 公式YouTubeチャンネル をぜひご覧ください

市議会の様子がYouTubeにてご覧になれます。9月から総務文教委員会、産業厚生委員会、決算特別委員会についても配信がスタートしました。これからも、より開かれた議会を目指し発信していきます。

ぜひチャンネル登録をお願いします。



## 令和2年度会計 決算審査

どういかにされた？ 私たちのお金

# 議会が厳しくチェック！



9月定例会は通称「決算議会」ともいわれ、定例会中に会計決算審査特別委員会(遠藤徳一委員長)を設置し、9月27日から29日までの3日間にわたり令和2年度会計を審査しました。

委員会では、一般会計ほか、特別会計4件、企業会計4件の9会計について市長、教育長、担当部局に対し質疑を行い、市民にとって実りのある予算執行であったか、次年度以降に反映できる要素はないか、確認作業も含め白熱した中で審議を重ねました。

その結果、いずれの会計も適正と判断し認定しました。これからも市民の声を生かした予算執行となるよう魚沼市議会としても務めてまいります。皆様の声をお寄せ下さい。

## 令和2年度 新型コロナウイルス感染症関連の事業 感染症の拡大により身近な生活にも大きく影響が広がっています。

### ① 新型コロナウイルス感染症関連経費（一般会計）

**総額 48億8,206万7千円**

|                        | 内 容                    | 金 額                                 |              |
|------------------------|------------------------|-------------------------------------|--------------|
| 感染症防止対策<br>1億1,603万7千円 | 衛生用品の購入                | 各施設や学校等における消毒液やディスペンサーの購入費用等        | 1,282万円      |
|                        | 感染症防止対策                | 各施設や学校等における手洗い自動化、感染防止に関するチラシ印刷等    | 8,170万1千円    |
|                        | PCR検査体制の強化など感染の早期発見    | 検査費用の助成、職員の検査費用等                    | 68万6千円       |
|                        | ワクチン接種体制の整備            | ワクチンの接種経費等                          | 1,460万円      |
|                        | 学校の臨時休校等を円滑に進めるための環境整備 | 臨時休校時の配置職員の報酬等                      | 570万1千円      |
|                        | その他                    | 高齢者の自宅運動用DVD作成、家庭ごみ持込自粛チラシ配布等       | 52万9千円       |
| 経済対策<br>47億6,603万円     | 市内経済の活性化               | プレミアム付商品券、観光需要喚起の各種キャンペーン等          | 4億7,301万7千円  |
|                        | 雇用の維持                  | 雇用調整助成金申請の支援、失業者支援給付金               | 328万円        |
|                        | 事業継続に困っている中小事業者への支援    | 中小事業者経営継続支援事業補助金、指定管理者経営継続支援等       | 2億6,272万5千円  |
|                        | 生活の支援                  | 特別定額給付金、水道・下水道基本料減額分、ひとり親世帯臨時特別給付金等 | 37億6,829万2千円 |
|                        | ポストコロナを見据えた新産業の創出      | 学校のICT機器整備、ネットワーク環境整備等              | 2億5,871万6千円  |

### ② 新型コロナウイルス感染症の影響による減収

※感染症の影響と明確に判断できるもの、または減収額を算出できるもののみ

**総額 6,440万4千円**

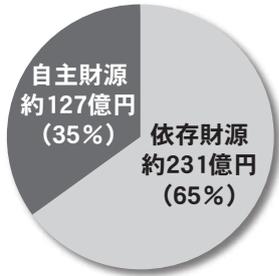
|                       | 内 容           | 金 額                       |           |
|-----------------------|---------------|---------------------------|-----------|
| そのうち<br>税収減と<br>なったもの | 入湯税 現年課税分     | 営業自粛や観光需要の低迷による利用者の減による減収 | 1,517万3千円 |
|                       | 固定資産税 現年課税分   | 徴収猶予の特例の申請によるもの           | 1,104万円   |
|                       | 市民税(個人) 現年課税分 | 徴収猶予の特例の申請によるもの           | 149万4千円   |

# 令和2年度決算をチェック！ お金の使い方を確認しました

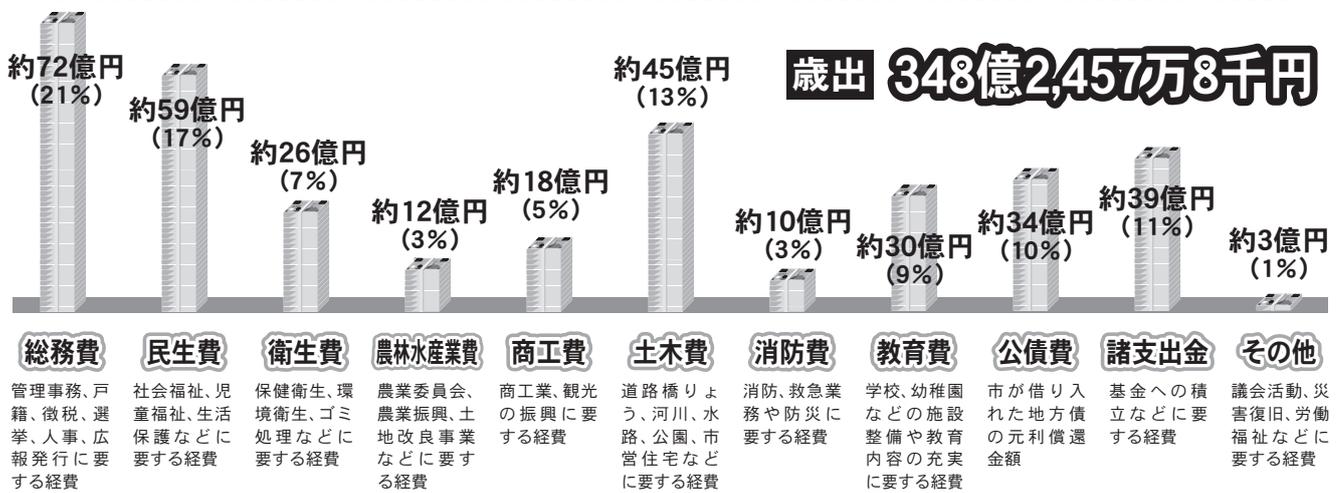


## 一般会計

**歳入 357億9,580万9千円**



- 依存財源とは…** 地方交付税、市が借り入れた地方債など、ほかから調達するお金  
〔地方交付税、国県支出金、市債、譲与税等〕
- 自主財源とは…** 市税や使用料など市が独自に収入できるお金  
〔市税、繰入金、寄附金、諸収入等〕



**差引 9億7,123万1千円**

## 特別会計・企業会計

| 【特別会計】   |           | 歳入(収入)       | 歳出(支出)       | 差引          |
|----------|-----------|--------------|--------------|-------------|
| 国民健康保険   | 事業勘定      | 33億9,268万6千円 | 32億8,162万1千円 | 1億1,106万5千円 |
|          | 直営診療所施設勘定 | 1億129万1千円    | 1億97万3千円     | 31万8千円      |
| 後期高齢者医療  |           | 8億5,120万2千円  | 8億5,018万6千円  | 101万6千円     |
| 介護保険     |           | 50億4,205万円   | 48億5,425万2千円 | 1億8,779万8千円 |
| 工業団地造成事業 |           | 4億8,700万6千円  | 4億8,583万5千円  | 117万1千円     |

| 【企業会計】 |       | 歳入(収入)       | 歳出(支出)       | 差引           |
|--------|-------|--------------|--------------|--------------|
| 病院事業   | 収益的収支 | 9億7,729万5千円  | 8億767万7千円    | 1億6,961万8千円  |
|        | 資本的収支 | 4億3,459万3千円  | 4億8,955万4千円  | ▲5,496万1千円   |
| ガス事業   | 収益的収支 | 13億6,348万8千円 | 12億6,226万2千円 | 1億122万6千円    |
|        | 資本的収支 | 4,431万6千円    | 2億1,286万2千円  | ▲1億6,854万6千円 |
| 水道事業   | 収益的収支 | 9億4,448万円    | 8億442万7千円    | 1億4,005万3千円  |
|        | 資本的収支 | 2億9,953万円    | 6億5,767万6千円  | ▲3億5,814万6千円 |
| 下水道事業  | 収益的収支 | 25億1,115万6千円 | 22億7,126万1千円 | 2億3,989万5千円  |
|        | 資本的収支 | 6億8,200万4千円  | 15億5,802万2千円 | ▲8億7,601万8千円 |

# 決算審査特別委員会での

## Q & A

### 決算審査意見書

#### 水道事業会計

#### 年間有収水量率について

**問** 前年度比1・8%減の要因は何か。また、その水量はどれくらいか。

**答** 減少の要因は水道管の漏水定ができず、漏水解消まで時間を要した箇所が数件あったため。水量は約11万トンになる。

### 総括

#### 審議会や各種委員会のメンバーについて

**問** 委員会のメンバーに再任が多いように思う。委員を無作為に選ぶ公募委員候補者登録制度を設ける考えはないか。

**答** 審議等に求められる知識、経験等を有する学識経験者等から構成され、結果的に再任するケースも多いが、問題ないと認識している。公募委員候補者登録制度は検討していないが、先進事例の研究等を進める。

#### 地域経済の活性化について

**問** 当初予算において観光面の予算が不足していると指摘があった。支援する意識が不足して



遠藤徳一委員長

たのではないか。

**答** 観光部門は地域経済の重要な位置づけであるとの認識で予算編成している。商工費においてさまざまな事業にしっかりと取り組んできた。

### 一般会計

#### 総務費

#### 公共交通総合連携事業

**問** 今後の課題で「利用者側である地域や目的地である関係施設を連携」とあるが、具体的な内容は。

**答** 地域公共交通協議会に参加している自治会長等と相談しながら利用者の声や要望等を吸い上げてきた。新たに交通事業者、目的地となる病院や商業施設と意見交換する場を設け、新規開拓を図る等の連携を進める。

#### 民生費

#### 老人クラブ助成事業

**問** 会員数の減少理由は何か。

**答** 死亡・高齢化等によることと、若い新規加入者が不足が

原因と考える。

**問** 加入者を増やすには、行政指導が必要。前期高齢者の加入に対して改革や補助金体制の仕組み等の検討が必要と考えるがどうか。

**答** 老人クラブと協議していく。

#### 介護人材確保支援事業

**問** 介護人材確保支援事業経費44万円はどのように使用したか。民間資格研修業者の研修を活用し、個々に参加費支援してはどうか。

**答** 市主催で入門的研修を実施し、10名参加があった。現在介護事業者が調査実施中であり、資格取得研修のあり方も確認する。

#### 生活扶助事業

**問** 令和2年度生活保護申請及び受理世帯数は。ケースワーカー一人あたり何世帯の被保護者を担当しているか。余裕ある体制か。

**答** 生活保護申請は32世帯からあり、受理世帯も同数。一人あたり担当世帯数は60世帯程度であり、80世帯を上限としている。

#### 衛生費

#### 予防接種事業

**問** 子宮頸がんワクチンについて前年に比べ接種者が増えている要因は。

**答** 令和2年10月の厚労省の通知により、対象者等が情報に接する機会を確保し、接種をすることができるかについて検討・判断ができる

よう対象者等へ周知を行った。

#### がん検診事業

**問** 受診率が年々大きく下がっている。その要因は何か。また、検診の意向調査を行ってきたか。

**答** 毎年行っている住民検診の希望調査で、検診を希望しない理由を聞いている。その中では、職場で受ける方、個人で受ける方が約5割程度あり、そういう理由から市の検診を受診しない人が増えていると考えている。

#### 公害対策事業

**問** 畜産臭気に対して、7年間のデータ分析で、臭気発生条件が確認されたとしたが、認識が遅すぎないか。

**答** おおよその傾向はつかないが、データの蓄積、事業者との面談、地域への聞きとりなどで確認した。

**問** 未だ臭気対策に至っていない。具体的臭気解決方法は何かと考えるか。

**答** 施設の老朽化や近代化の遅れもあり、事業者が総合的な計画を立て実施する必要があるが、臭気測定、事業者面談、糞尿の清掃の徹底の理解を求めていくことで根気強く対応していく。

**問** 薬剤等での臭気対策への意見が市民から寄せられているが、事業者理解に時間がかかるようなら薬剤使用の検討はしないか。

**答** 薬剤使用は既に行っているが、そのほかの対策も含めて、

根気強く事業者に理解を求めていく。

### ●地球温暖化対策事業

**問** 地球温暖化対策は今後10年ほどの間に、しっかりとした対策を取らないと、温度上昇が元に戻らない状況になる、と言われている。市の各種対策事業をどう評価するか。

**答** 市では地球温暖化対策に必要事業を各種実施してきたと評価している。

### ●ごみ処理事業

**問** エコプラントは、長寿命化対策が行われるので更新は先になるが、エネルギー有効活用観点から、排熱で発電し、市庁舎や病院への電力供給することは検討しているか。

**答** ごみ処理の排熱を利用した発電については、今後の検討課題としたい。

### ●農林水産業費

#### ●農政管理事業

**問** 農作物への被害対策としてイノシシの具体的な対策は講じられているか。

**答** 魚沼市鳥獣被害防止対策協議会に対し捕獲機材等の必要額を補助金として交付している。令和3年度は、協議会において電気柵の設置や貸出等の対策を講じている。また、クマ、イノシシを捕獲した際の奨励金も設けている。

### ●商工費

#### ●商業活性化事業

**問** ゆきんこカードの現状と今後の発展性についてはどうか。

**答** 発行枚数が約24,800枚と、市民の3人に2人の割合で広く利用いただいている。カードに利用者情報を登録することで、購買動向の分析等に利用でき、市内の商業の発展につなげていくことができる。

#### ●誘客宣伝事業

**問** ワーケーションのテストマーケティングの検証結果はどうか。

**答** 東京で勤務する20〜30代の男女を招致し、テストマーケティングを実施した。魚沼の自然・食等によりストレスから解放された仕事環境や体験メニューで高評価を得る一方、通信環境の不足、二次交通の利便性向上等の課題もあった。

### ●教育費

**問** スキー場は今後多額の設備更新費用が必要になる。このバックデータとして、スキー場の持つ大きな経済効果を把握すべきと考えるがどうか。

**答** 経済効果算出の詳細なデータを集めるには、時間と費用もだいぶかかり、現在のところ経済効果を出す予定はない。

### ●土木費

#### ●地下水保全事業

**問** 節水機器設置事業補助金について49件の申請のうち、新規、更新の割合はどうか。

**答** 新規が25件、更新が24件だった。新設井戸、既設井戸の

区別なく、新たに節水型の降雪検知器を設置する場合は対象としている。今後も同様の対応としたい。

### ●防災費

#### ●防災対策事業

**問** いがた防災シニアリーダー養成講座とは何か。

**答** 県が開催する防災講座や防災訓練のリーダーを養成する講座で、応募により3名を推薦した。費用は無料。

### ●学校給食管理費

#### ●学校給食管理費

**問** 地産地消の目標値は設定しているのか。

**答** 令和2年度の市内産食材使用割合の目標は10・5%で魚沼産コシヒカリと地場産野菜等を合わせ目標を達成している。令和7年度の目標値は12%でさらに地産地消に取り組んでいく計画である。

### ●諸支出金

#### ●財政調整基金費

**問** 自主防災組織の活動支援についてはどうか。

**答** 令和2年度に自主防火組織モデルを創設したところであり、この取組を通して防災活動が活性化されることを目指している。自治会や自主防災会に登録している防災士が、自主防災組織の企画や防災訓練に関わり、活動してくれることを期待している。

**問** 当市の財政調整基金残高は58億を超え、学説では標準財政規模の10〜15%が適切であるといわれている。どう考えるか。

**答** 他市町村の状況も見ながら検討したい。

### ●特別会計・企業会計

#### ●国民健康保険

**問** 徴収猶予を行った件数とコロナ特例減免措置を行った件数は何件か。

**答** 令和2年度に行った徴収猶予の件数は31件、コロナ特例の減免措置については25件だった。

### ●介護保険

#### ●介護保険

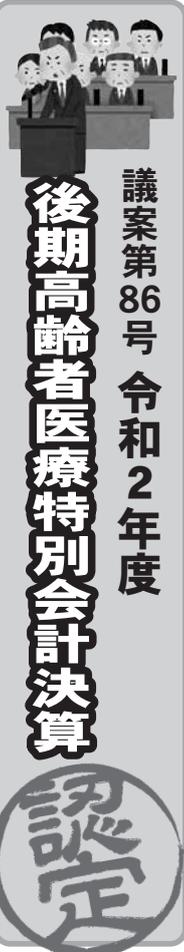
**問** 納付を進めるために、独自で減免要件を緩和する考えはないか。

**答** 所得の低い方には、法令で定められている低所得者軽減の制度や、非自発的な失業者への負担軽減の対応が取られているので、独自の減免要件緩和については考えていない。

**問** 特養の待機者が増える中、住所地特例被保険者が年々増加し、2年度末は元年度より9人増の106人である。住所地特例解消には、市独自の上乗せ支援も必要と考えるがどうか。

**答** 事業者へのアンケート等により検討する。

### ●特別会計・企業会計



### 議案第86号 令和2年度

## 後期高齢者医療特別会計決算

# 認定

### 反対討論

制度開始以来、75歳以上の年金暮らしで低収入の人に、毎年保険料負担、窓口負担が増え、制度の矛盾が一層深刻だ。保険料の滞納状況を経年で見ても、滞納や滞納繰越の改善が進まない。ギリギリの生活で、負担に苦しんでいる方が年々増えている。現役世代の協会けんぽと本人負担割合を2015年と比較して、協会けんぽは7・6%、後期高齢者医療制度は8・3%、一人あたり医療費で協会けんぽは、16万7千円、後期高齢者医療制度は93万2千円と現役世代の5・5倍と別枠の保険制度では成り立たない。高齢者が医療を受けられないことも考えられる。以上、制度に対する問題と滞納の改善が見られないことで反対とする。

### 賛成討論

後期高齢者医療制度は、約5割を公費、約4割を現役世代からの支援金、

約1割を後期高齢者の保険料で賄っている。現役世代の支援金は2010年度には現役世代一人あたり約4万4千円から、2020年度には約6万3千円まで上昇した。

来年は団塊の世代が後期高齢者の仲間入りし、現役世代の負担増が見込まれるため、本年6月国会で可決した医療制度改革関連法で約20%の人が2割負担となるが、原則1割負担の枠組みは守られた。

ほとんどの人が75歳からは窓口負担が1割となり、それまでより自己負担が少なくなる。不安をおおる報道もあるが、今回の改正は高齢者への影響に十分配慮し、現役世代の負担を抑える措置を講じたものだ。また、全国一低い保険料である新潟県の制度を高く評価し、賛成する。

※このほか、令和2年度一般会計等、9件の決算について認定しました。

### 請願や陳情に関する討論

#### 請願第4号

コロナ禍に苦しむ人々に食料を支援する施策を求める請願

### 賛成討論

この請願団体はこれまで自主的に支援を実施してきたが、とても追いつかない。県内でも、青年の団体が食糧支援を行ってきたが、学生の困窮が進んでいると聞く。全国の自治体や魚沼市でも、学生への支援や市民にフードバンクを通じて支援しているが追いついていない。コロナ禍で極度の困窮に陥っていることは、社会で解決しなければならぬ。この請願趣旨の農産物の余剰分を政府によって支援することは、主要国では当たり前に行っている。魚沼市議会から政府に声を上げることが、今の国民の実状にあったことであり、この請願に賛成する。

### 反対討論

- 1 食生活の変化により米離れが進み作りすぎると米の価格が下がる。減反政策は米価を安定させて農家を守る政策であること。
- 2 今夏の長雨等の影響で農産物に大きな被害が出ている中で余剰農産物などあるのか。打撃を受けた農産物、農家への支援が先である。
- 3 現行のフードバンク等が困窮者支援を行っている中、行き場を失った農産物がどこにあるのか根拠を示していない。政府を混乱させるだけである。
- 4 現在コロナ禍で困窮する方に様々な対策が講じられている。これらの延長や充実の方が確実に生活困窮者を救済できる。

以上の理由により反対する。

### 陳情第1号

「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

### 賛成討論

2018年9月の新聞によると、公的教育支出の課題点について、「一般政府総支出に占める教育支出も、OECD加盟国平均8%に対して、日本は6・3%と下回る。中でも高等教育は平均3%に対し、1・7%と約半分である」、「教師らが疲弊する前に、教育投資の優先順位を上げ、成果に見合った投資をすべき」とある。今までも教育への財政支援が低く、コロナ禍で家庭や教育機関は財政的にさらに深刻さを増している。国による教育への財政支援は拡充すべきであると考え、賛成する。

### 反対討論

昨年度、国の高等学校等就学支援金制度が拡充され、所得制限を設けた中ではあるが、授業料の負担がなくなるなど支援が手厚くなった。そして市内公立高校の状況は、昨年度の小出高校の生徒数は160名募集のところ139名の入学、堀之内高校の最終倍率は0・5倍といずれも定員割れとなっている。魚沼から学生の流出という観点から考えると公立高校と同等となるような助成は、地元高校からさらなる生徒離れが危惧され、ついでに学級減が行われ、地元の公立高校を希望する生徒や家庭の負担が大きくなる。以上の観点から反対する。

# Voice

聞かせて！あなたの声

## 詩吟

### 瀧口焯州氏

今回は詩吟の師匠の瀧口さんにお話を伺いました。瀧口さんは移住者でもあり、約20年前に旧入広瀬村に住みはじめたお話についても聞かせていただきました。



書道教室の多田先生が詩吟について書いた色紙

## 詩吟を始めたきっかけと詩吟の魅力

以前、廣部鵬州という詩吟の師匠が同じ町内に住んでいて、うちの家内と師匠の奥さんが友達でした。師匠がうちにお茶を飲みに行きたる時に「一緒に詩吟をやらないか」と誘われて始めました。詩吟を始めて今年でちょうど50年になります。

最初のころは舞台上で足がガタガタ震えていましたが、腹から声を出して読むというのは気持ちがいいことに気が付きました。お父さんは道楽してきたけど詩吟だけは1回もやめるって言ったことはないね、と家内に言われています。

## 魚沼に移住したきっかけ

20年くらい日本橋の印刷屋で働いた後、独立して神奈川県で印刷屋をやっていました。睡眠時間を削って必死に仕事をして、子育てがひと段落して60歳を迎えた頃、旧入広瀬村が読売新聞と朝日新聞に掲載した「土地を無償で差し上げるから移住しませんか」という広告を目にしました。家内が元々自然好きなこともあって、この地に移住を決めました。

## 活動内容について

22年前から「魚沼市新吟詠の会」として小出郷福祉センターで詩吟を会員に教えてきました。会員は最高で24、5人いたんですが、会員が高齢化する中、さらに新型コロナの影響で小出郷福祉センターが使えなくなってしまい、会を一旦締めましょうということになりました。現在、魚沼市にはほかの詩吟の会は一つもありません。若者が詩吟に触れる機会はなかなかないので、市内の小中学校等で詩吟を教える機会があればうれしいですね。

## 魚沼市の皆さんに伝えたいこと

都会と違って「人情」があることです。都会では町内会の会議があっても話すことがなかったけど、入広瀬に来てからは、集会所で集まると仲間として話してくれます。時々玄関に近所の方が野菜を置いてくれますが、どんな袋に入っているかで誰が置いたか大体わかるくらい横のつながりの強さを感じます。あと、都会よりも肩ひじ張らずに生活できるので、20年間背広を着ていません。

## 市議会に言いたいこと

国会議員の方が「市民のために」ってよく言うけど、本当に市民のために働いてくれている人は一握りです。都会に何十年も住んでいても、県議員や市議会議員は1回も会ったことがなかったです。会って話したりできる市議会議員は身近な存在だと感じています。



詩吟とは漢詩に節をつけて吟じること。有名な「白虎隊」という作品です。

23年前、全国版の新聞広告を見て旧入広瀬村に移住されてきたことに驚きました。特技を生かして詩吟教室を開き、市民と共に楽しんできたなか、コロナ禍で閉めることになり残念だと感じました。これからは詩吟文化を小中学生にぜひ伝えていただきたいと思っています。



佐藤 肇

# 魚沼市の交通安全政策を問う



**問** 千葉県八街市の通学時の児童死傷事故を重く受け止め、全国で交通安全対策の強化が求められている。

市では警察、道路管理者、教育委員会等が合同で交通安全プログラムを毎年実施している。そこで調査し指摘された危険箇所の改善状況はどうか。

**答** 平成24年度から点検を行っており、令和2年度までに324件の危険箇所を合同点検してきた。対策を講じた箇所は313件、96・6%であり、減速マークの表示や歩道設置、パトロール強化等の対策を行った。

**問** 歩道が片側だけとなる地点に横断歩道等の設置を求める声がある。例えば、四日町地内の県道下倉小出線、中ノ島中田線の交差点や県道小出奥只見線と井口新田6号線の交差点などがあるが、市の見解はど

うか。

**答** 県の公安委員会が限られた予算の中で検討をしていることは理解しているが、粘り強く警察に要望していくことが重要と考えている。市の取組として、自治会への「歩行者注意」等の看板の支給により対応をお願いしている。

**問** 市街地の道路での速度超過、歩行者のいる横断歩道で止まらない車、横断歩道上に駐車する車、自転車運転時の法令違反など、運転手側の指導はどのように考えているのか。

**答** 市民や事業所に向けた交通安全の徹底に向けた啓発を繰り返し行う。警察に対する交通危険箇所の情報提供も必要であると考えている。



大桃 俊彦

# コシヒカリ紅葉マラソン実施について問う



**問** コロナウイルス感染症の終息が見られない中、実施する方向で進められていることについて問う。開催に至った理由は何か。

**答** 感染症及びクマ出没に関する対策マニュアルを実行委員会において整備し、何より2年間の中止に続いて今回中止すると、来年度の開催が厳しいものと判断した。

**問** 実行委員会の中で議論された内容は何か。中止や市民のみでの開催の話はなかったか。

**答** そのような議論はなく、参加者を県内限定にしたことや、中止基準を含めた感染症対策とクマ対策のマニュアルの内容を検討した。

**問** 人気の新米おにぎりやお米の参加賞などがない中で県内参加者1,000人は望めるのか。

**答** 参加者が多く集まらない場合は協賛金の比率が高くなる。市内事業所等への協賛金依頼は、コロナ禍で運営に苦しんでいることに理解をいただいたうえで、実行委員と協力しながら取り組んでいきたい。

**問** 参加費の徴収方法はどうか。前回の中止時は参加費は返金されなかったが今回はどうなのか。

**答** これから検討する。参加費の一部をコロナ感染症対策に充てることについて理解していただけていると考え

**問** 感染者発生時の対応は検討しているか。

**答** 健康管理・体温測定・消毒体制・ソーシャルディスタンス等、万全な体制で取り組むが、感染者が発生した場合は、次の開催に向けて実施方法等について再度検討したい。

**問** 相当数のボランティア人員を要することとなるが体制はできているか。

**答** 給水所を減らして人員を確保する等、検討中である。

※ 開催するにはまだまだ課題が多いと思うが、感染者が出たらイメージの悪い大会となる、クマ対策を含め十分な検討を願う。

**問** 豪雨災害時の対応策について問う

**答** 佐梨川上流で発生した大雨での濁流の映像が全国に放送されたが、今まではどのように危険を周知していたのか。

**問** 県の地域整備部や消防署との連携による緊急パトロールや自治会長への電話連絡による注意喚起を実施してきた。

**答** 県の振興局や土地改良区等の関係機関との検討を始めたところである。



浅井 宏昭

### 新電力の導入について



**問** 本庁舎、ガス水道局、北部事務所等の市有施設の年間の電気代の合計はいくらか。

**答** 令和2年度の庁舎・学校・公民館等の市有施設の電気代はおおむね2億3千5百万円となっている。

**問** 内田市長は2億3千5百万の電気代と聞いてどう感じるか。

**答** 節約しなければいけないと感じる。

**問** 現在の本庁舎をはじめとする市有施設の電力契約はどのようなになっているか。

**答** 東北電力㈱との契約を毎年更新している。

**問** 電気小売業者として東北電力㈱も新電力の会社も同じ枠組みとなっているが現状の契約のままでは問題はないのか。

**答** 契約状況は双方が異存のない場合は契約自体が自動更新されることになっている。

**問** 入札制度を取り入れて早急にコスト削減に向けて進めるべきではないか。

**答** 新電力の信頼性等の検討を進めている。状況が整い次第、入札により電力会社の検討に入りたい。

**問** 市内で新電力を取り入れる施設はあるか。

**答** 指定管理施設で18施設が新電力に切り替えている。

**問** 新電力を取り入れて、行政コストを下げているか。

**答** 電気代に限らず行政コストを抑えることは大変重要であると考えている。市民の皆様の大切な税金を有効に活用していくように努めていく。



星野みゆき

### コロナ禍における経済支援について



**問** 新型コロナウイルスに関する様々な支援事業は、どのように事業者に告知しているか。

**答** 市報、折込チラシ、記者会見、商工会等を通じての会員への周知等を行っている。

**問** 自分が使える制度がわからない、どこに相談してよいかわからないという声もあることから、コロナ全般の相談窓口を開設する考えはないか。

**答** それぞれの担当課で分かりやすく対応しているので、窓口一本化の考えはない。

**問** 様々な支援事業には申請書、報告書等が必要となる。自分でプリントアウトしなくとも、年配のかた向けに近くの市民サービスコーナーで該当の申請書等を用意してもらえないか。

**答** より近くで申請書等を用意し説明できることが理想と思うので、前向きに検討する。

**問** 新型コロナウイルスのワクチン接種について

**問** 12歳から15歳のワクチン接種の予約状況はどうか。

**答** 9月6日時点で約50%にあたる603件の予約を受けている。

**問** 15歳以下が医療機関で接種を受けられる時間帯は、日中など、学校を早退しなければ受けられない時間帯が多い。医療機関との協議はできなかつたのか。

**答** 通常の診療もあるので時間の確保が難しく、調整した結果である。なんとか都合をつけて接種していただきたい。



星 直樹

### 15歳以下のワクチン接種について



**問** 現在延期や中止の対応をとっている「修学旅行」や「部活動で市外への宿泊をともなう活動」の参加については未接種者でも同じような行動を取れるのか。また、部屋割り等で差別することがないよう望むが、対応を検討しているか。

**答** 教育活動においてワクチンの未接種者を区別することはない。また、各学校に人権に配慮して教育活動を行うよう指導している。子どもたちの間でも区別や差別が起きないように通知を出す等の対応をしている。

ふるさと納税について

**問** サイトに返礼品を並べて待つのではなく、情報を仕入れ、こちらから仕掛けて行く動きがさらに必要である。24億円を超え寄附額をさらに加速させるためには庁舎内に「ふ

るさと納税プロジェクトチーム」を組む必要があると思うが考えは。

**答** 返礼品については各事業者から申込んでもらったものを掲載している。プロジェクトチームについて、今のところ考えていないが、今後の検討課題としたい。

マイマイガ発生の対応について

**問** 紫外線を発する照明に集まる習性を持っている。LED切替等、今後の対策は練られているのか。

**答** 市で管理する防犯灯についてはすべてLED化されている。白熱灯や水銀灯が使用されている一部の市有施設等の街灯のLEDへの入替について、自治会や施設管理者に依頼していきたい。



森島 守人

### 住宅リフォーム関連支援事業について



**問** 新年度予算へ所要額を計上すべきと考えるがどうか。

**答** 実績を踏まえ、新年度予算へ反映していく。

**問** 市民及び業者の状況を考慮し、補助事業の工期確保の観点から、本事業における「繰越制度」の導入を検討し、冬期間を含めた通年工事が可能な執行体制の導入を考えてはどうか。

**答** 現行の制度で十分成果があると考えている。現状の補助金交付要綱で当年度2月末までの実績報告を必須としていることから、「繰越制度」の導入ありきではなく、より活用しやすい制度となるよう検討していく。

**問** 全国的に問題になっている「空き家」。空き家も対象とした制度設計も進めていく必要がある。あるいは、国の「空き家対策特別措置法」の中で解体事業に取り組む考えはあるか。

**答** あくまで空き家を活用したり

リフォームを支援の対象として考えているので、解体のみを対象とすることは考えていない。雪等の影響で緊急措置を行っている空き家の件数も増えていることから、魚沼市空家等対策計画の見直しについて研究したい。

令和4年度予算編成及び魚沼市の将来像について

**問** コロナ禍により疲弊した地域経済に息を吹き込み、一気にアクセルを踏み込んでいくには、終息後を見据えた「次の一手」を考える必要がある。このアフターコロナの取組に向けて来年度予算編成を控えた今、庁内の英知を結集させて検討していくべきだと考える。どのような予算編成を考え、まちづくりをするのか。

**答** 予算編成については、1年半余りに及ぶコロナ禍により思うように事業を展開できなかった事業者への支援をはじめとして、地域の経済活動の回復を最優先に行いたい。人と人のつながりを大切にし、地域に愛着と誇りを持てるまちづくりを進めたい。



桑原 郁夫

# 市のカーボン・オフセット・クレジット販売事業について



**問** 魚沼わくわくの森クレジットを利用して企業・団体の8月現在の数とその金額はどうか。

**答** 8月時点で6事業所あり、平成28年から累計1,089トン、1,184万8千円である。

**問** この資金を利用してどのような事業展開をしているか。また、その実績と目標はどうか。

**答** これまでの販売収入は森林整備事業等に財源充当しており、引き続き有効な事業展開を図るための原資としたいと考えている。今後年間約300トンのクレジットを発行する予定であり、企業・団体等への販売促進していきたい。

## ※1 カーボンオフセット

CO<sub>2</sub>等の温室効果ガスについて、どうしても削減できない排出量を、別の場所でも削減された森林整備活動等の排出削減・吸収量(クレジット)を購入することにより、埋め合わせるという考え方。

市内の耕作放棄地について

**問** 耕作放棄されている面積とその対策はどうか。

**答** 令和2年度時点で草刈り等により再生可能な耕作放棄されている農地は約1・2ヘクタール、原野化等により再生が困難と見込まれる農地は約136ヘクタールとなっている。高齢化等により離農に至るケースもあり、遊休農地は増加傾向にある。引き続き農地の利用調整や借り手探し等による耕作放棄地の発生防止に努めたい。

**問** 空き家バンクは、活用が進められているが、農地バンクは活用されているか。

**答** 現在は個別に対応しているため、市では農地バンクは設置していないが、県では新潟県農林公社が行っており、それを通じて農地の貸し借りを行っている。



横山 正樹

# 温かい学級づくりの成果と課題について



**問** 「温かい学級づくり支援事業」における成果と課題、今後の取組について問う。

**答** 温かい学級づくり支援事業実施以降、この6年間は偏差値がほぼ50で推移する等、温かい学級で過ごすことにより、学力向上と不登校を減らすという一定の成果が出ている。今後もWEBQU調査を継続し、児童生徒の実態把握に努め、それに基づいた集団づくりや学級経営に取り組むよう支援していく。

## ※2 WEBQU調査

児童生徒対象のインターネットを使用したアンケート調査。学級満足度を調査当日に把握することができ、学校生活への不応、不登校、いじめ等を早期に発見できるもの。

**問** 「慢性的な病気や障がい、精神的問題やアルコール依存を抱える家族」をケアしている子どもの実態把握と、ヤングケアラーについての研修が必要と考えるがどうか。

**答** ヤングケアラーに特化した実態把握はしていない。今後は関係機関の担当者を含め、その実態を見逃

さないための研修等を検討したい。

コミュニティ協議会の役割とその仕組みについて

**問** 地域課題の解決を図るにはコミ協組織の在り方を検討し、課題に関わる組織や団体と協働する仕組みづくりが急務と考える。市長の考えを問う。

**答** 仕組みづくりまでには至っていないが、集落支援員が橋渡し役となり、関係団体等と話し合いを進めている。

**問** コミ協と公民館が融合した地域コミュニティセンター方式で地域課題の解決に向けた取組ができないか。また、コミ協の拠点が必要と考えるが、市長の考えを問う。

**答** 公民館活動の活発な地域もあれば、コミ協活動の活発な地域もある。地域ごとの実情にあった方向を検討していきたい。コミ協の果たす役割はますます大きくなると思われるので、拠点の設置や事務員の必要性についても意向を集約し、サポート体制の強化を検討していきたい。



佐藤 達雄

### 小出病院の病床削減、 救急搬送受け入れ取り 止めの検討を問う



**問** 魚沼圏域地域医療構想調整会議では、厚労省案をもとに県主導の形で、病床数を現状より130床余り削減することを計画しているが、その根拠は。また、救急搬送先を基幹病院に一本化することも検討しているか。

**答** 会議の中で今後の需要量に即した体制が検討されており、病床数の削減を前提とするものではなく、検討過程の数値として公表されたものである。今後、医師等の働き方改革についても検討を進めて行く必要がある、救急の受け入れについても周辺の医療機関の受入体制、市民ニーズ等も考慮しながら検討して行きたい。

**問** 医師数も病床数も少ない魚沼圏域から、これ以上病床を減らすべきでなく、政府・県主導の病床削減案に市は批判的精神をもって望んでもらいたい。救急搬送に関する小出病院と基幹病院の役割分担を明確にし、連携方法等について整理を進めべきと考えるがどうか。

**答** 魚沼圏域地域医療構想調整会

議の中で検討を進めていきたい。

特別養護老人ホームについて

**問** 特別養護老人ホームの増設に向け、介護職の処遇改善策として、資格取得の補助対象を抜本的に広げるとともに、夜勤者の大変さに見合うよう夜勤手当の補助制度を検討すべきと考えるがどうか。

**答** 介護事業者を対象に意見交換会や掘り下げた調査を実施しており、その意見を踏まえたいうえで、人材確保の手段について検討する。

生活保護申請について

**問** コロナ禍で生活困窮者が増えているが、生活保護申請することへの大きな壁が扶養照会だ。申請者が扶養照会を拒む場合は、本人の意向としてこれを充分尊重すべきと考えるがどうか。

**答** 申請の際に明らかに扶養履行が期待できない場合等には、扶養照会を行わない取扱いをしている。



遠藤 徳一

### パラリンピックススポーツの 普及と環境整備について



**問** 東京2020オリンピック・パラリンピックスイヤーを契機に障害者スポーツ、生涯スポーツに力を入れ、多くの方が参加できるよう環境を整備し各種行政課題を関連付けながら魚沼市の「まちづくり」に発展させてはどうか、以下を問う。  
現在の魚沼市スポーツ推進計画にはパラリンピックス理念に基づく普及振興的な部分の掲載が少ない。次回の策定に盛り込むべきと思うがどうか。

**答** 盛り込めるよう検討する。

**問** 市有の公共施設等の利活用も視野に入れ特色あるパラリンピックススポーツや生涯スポーツの環境整備を図り「心身ともに健康なまちづくり」のイメージを普及させてはと考えるがどうか。

**答** 先進事例等、研究しながら検討する。

**問** パラリンピックススポーツは冬季競技も含まれ、スキー場等地元の活性化として市内外に発信することに移住定住施策や健康増進施策にもつながる。その環境整備として、陸上競技場や水泳施設等について広域

で協議し今後建設を考えるべきと考えるがどうか。

**答** 慎重に検討する必要があるが、参考にしたい。

犯罪者支援条例について

**問** 新潟県は条例化し、市町村にも制定を呼びかけている。犯罪が多様化、交通ルールの無秩序化により被害を受けるケースも多様に考えられるがどうか。

**答** 被害者からの相談や支援の実例がなく、条例化の予定はない。現行の条例の中で対応する。

小出郷図書館の今後について

**問** 市内外に呼びかけエリアリノベーションスクール開催等によりこのエリアの役割や責務を明確化し新庁舎、小出病院、図書館構想等の周辺環境を調査しながらこの建物の価値を高める必要があるがどうか。

**答** 専門家を交えるかわからないが市民ワークショップ等検討する。



高野甲子雄

## 学校授業で弁当作りに よる食育の推進を



**問** 「食でつながる元気なまちづくり」では家庭が食育活動の推進母体と位置付けられている。しかし、今は共働き家庭、核家族化が進み、家庭での「食育活動」は難しい状況である。小学校5、6年生の料理実習授業、総合学習などを活用し、学校での「弁当作り」で子どもたちの食育を行ってはどうか。

**答** 弁当作りについては食育の観点から意義があることは理解しているが、年間指導計画の中に新たに組み込むことは授業日数等との兼ね合いの観点から難しいと考えている。

東京に塩おにぎり店の開設を

**問** 魚沼産コシヒカリは全国ブランドである。魚沼市へ観光客を呼び込む宣伝塔としての「塩おにぎり店」を開設してはどうか。

**答** 産地の知名度を生かした観光誘客は効果的であると考えているが、塩おにぎり店の開設は、民間事業者の活動であると考えている。この秋から市内飲食店等での「魚沼ごちそうおにぎり事業」を展開することとしており、米どころ魚沼市に向けた観光戦略を進めていきたい。



魚沼ごちそう  
おにぎりポスター



富永三敏

## デジタル庁発足を踏ま えたICTの推進は



**問** 公文書の電子データ化、各種行政サービスの電子化の必要性はどうか考えるか。

**答** 印刷コスト削減や保管場所の省スペース化、行政手続きの電子化による市民の利便性向上や感染防止の観点など必要性は充分認識している。

**問** コロナ禍で他自治体や庁内の会議はリモート化したか。

**答** 他自治体等とのリモート会議は月平均約70回実施している。庁内会議は対面で行っている。

**問** 紙ベースでの保管は大変大きなスペースが必要で、積み上げると5・5kmにもなる文書量である。公文書の電子データ化の進捗と情報セキュリティはどうか。

**答** 事務の効率化と行政手続きの市民負担軽減のためにもデータ化をさらに進めていく。文書改ざんやデータ流失等には情報セキュリティ対策基準を設けており、これに基づき対応する。

**問** 歴史的価値がある古文書などの電子データ化は進んだか。

**答** 古文書の目録等の電子データ化は概ね済んだ。古文書のスキャンデータ化作業は市内サークルの協力で進めているが、市指定文化財の古文書のスキャン作業は内容確認が必要なことから時間を要している。

**問** GIGAスクール構想により全小中学校の児童生徒一人に1台の端末を配備したが、今後のICT教育の進め方はどうか。

**答** デジタル教材の視聴やインターネットでの調べ活動など効率的な学習ができていく。通信環境のない家庭にはモバイル通信機器を貸し出し、自宅学習でも使用している。今後はGIGAスクール推進チームを組織し、推進計画を作成し実施していく。教職員のICT研修を進め、デジタル教材やクラウドシステムの活用とICT支援員のサポートにより、効率的、効果的な学習を目指す。



渡辺 一美

# 公共交通施策について



**問** 「空のバスや乗り合いタクシーの運行に多額の税金が事業者へ投入されている」と市民の声が寄せられている。しかし公共交通を維持するために財政支援が必要である。従来の事業者への財政支援から利用客への財政支援に切替えて、学生・観光客・高齢者の利用促進のための提案をし、市長の見解を問う。

**答** 上越線の最寄り駅に徒歩で通える高校生に比べ、バスや只見線を利用しなければならぬ生徒は通学に大きな経済的負担が生じている。真に学びの機会の平等性を確保するには中学生同様、通学費用も無償化が必要であり高校生に最寄駅までの通学バス定期券を配付してはどうか。

**問** 長崎市では路面電車1日乗り放題の「電車一日乗車券」、京都府では「バス一日券」を販売している。当市でも観光地等の新たな運行ルートの設置とともに、どの路線バスや乗り合いタクシーでも利用できる一日乗車券を導入してはどうか。

**答** 交通事業者に対して乗り放題チケット導入による利用促進の取組が可能であるかどうか働きかけていきたい。

**問** 70歳以上の方に、市内のどの地域に住んでいても一律料金で何回でも利用できる年間シルバーパスを導入してはどうか。

**答** 福祉交通分野の拡充を含め、よりよい制度の構築を検討していきたい。

**問** 1980年代まで、日本はワクチン先進国であったが、ワクチンの健康被害が社会問題となり、いつしか行政は予防接種に対して積極的な関与を行わなくなってしまった。しかし、新型コロナウイルスワクチンに限らず、ワクチンは大きな目で見ると、メリットが大きい事実はある。市のワクチン行政の基本的な姿勢を問う。

**答** 予防接種はこれまで多くの疾病の流行防止に大きな成果をあげてきた。予防接種によるメリット、デメリット及びリスクについての正しい知識をわかりやすく伝えることにより市民から理解を得られるよう努めていく。

**問** 人が集う場所でのWiFi完全設置を

**答** 庁舎、公民館などの公共施設に加え、駅、道の駅など、人が集う場所でのWiFi完全設置を行う

**問** 現在、庁舎、公民館、観光施設及び学校施設等に導入している。今後の設置は利用者等の状況をみただ中で判断していきたい。

えないか。

**答** 現在は庁舎、公民館、観光施設及び学校施設等に導入している。今後の設置は利用者等の状況をみただ中で判断していきたい。

**問** 店舗等でWiFiを設置する場合の補助制度はあるか。

**答** 「魚沼市公衆無線LAN設置支援事業補助金」を設けているが、交付件数が例年数件程度にとどまっている。より多く利用してもらえよう周知方法を工夫していきたい。

**問** 利用箇所を一元化したサイトがあるとはいいませんか。

**答** 市のホームページのほか、フリースポットドットコムにも掲載されている。市内の店舗等の情報も合わせて掲載されている。



本田 篤

# ワクチン行政の姿勢は





志田 貢

## 佐梨川の護岸周辺整備を



**問** 7月29日に撮影された佐梨川鉄砲水の動画はとても印象深かったが、注意喚起だけでなく、佐梨川護岸周辺の整備も行う必要がある。

佐梨川は清流として知られ、上流には多くの釣り人が訪れ、下流には河川公園や河川整備による水遊びスポットなど、レクリエーションの場が豊富に点在している。特に下流域のビハール佐梨川、吉田橋から野口の環境整備を見つめ直すべきと考ええる。

注意喚起方法の見直しと避難経路の確立を行い、平時からの利活用を狙い、臭気対策や草刈り、施設修繕など多目的に行うべきと考えるがどうか。

**答** 本河川は調和のとれた景観、動植物の良好な成育環境等もあり、築堤、護岸、河床掘削を中心に県が整備を進めており、現在大湯温泉地区について着手している。

## 介護人材の雇用について

**問** 介護人材不足を理由に、デイサービスの営業日を縮小せざるを得ない事業所もあると聞く。人材不足を解決しなければ、介護の問題も解決しない。当市に介護人材の潜在性がないとすれば、人材を市外から募る必要もあると考える。自治体連携の中で人材を融通することはできないか。また、外国人技能実習生等の見込みはあるか。ここに市も関与できないか。

**答** 自治体連携については全国的に介護人材不足の状況なので、仕組みづくりが難しいと考える。外国人技能実習生はコロナ禍で受入が難しい状況にあるが、必要性は認識している。事業所から意見を聞く中で支援を検討したい。

## コロナワクチン接種と検査体制について

**問** ワクチン接種対象者でない、12歳以下の子どもたちへの感染拡大が懸念される。その対策を伺う。

**答** 子どもたちを感染から守るために、接する機会が多い教職員、保育士等に優先的にワクチン接種を実施した。また、家庭・学校間の感染を広げないように、感染症対策の継続について啓発に努めていく。

**問** コロナ感染拡大を防ぐには、無症状者を早くみつけ、治療し、保護することが重要だ。そのためにPCR検査や抗原検査などを無料化する考えはないか。

**答** 感染の不安を抱える市民を対象としたPCR検査の費用助成を行っている。また、事業所が実施するPCR検査費用の助成の活用も進んでいる。定期的な検査を市単独で実施することは費用的にも人的にも非常に難しい。



大平 恭児

## 子どもたちへの感染対策を問う



## ごみの減量化について

**問** 世界的規模の気候変動は、人類を脅かすものだ。廃棄物処理によりCO<sub>2</sub>が大量排出され重大な影響を及ぼしている。その中で市のごみリサイクル率は非常に低い。生ゴミの堆肥化など資源ごみの品目を大幅に増やし、リサイクルへの転換を図るべきではないか。

**答** 現在は分別時の区分数を抑え、回収後にリサイクル可能なものを選択する施設選別方式を採用している。さらなる資源化には処理施設の整備等が必要となるため、新しい処理施設の建設とあわせて検討したい。公共施設再編について

**問** 各地域の公共施設を考えていくのは、住民に直接の問題であり、住民自身が深く関わるのが重要だ。早期に住民との協議の場を具体化しないか。

**答** 公共施設に関する計画は、各地域の声を聞いて策定してきたので、これからも意見を聞きながら進めていきたい。

# 総務文教委員会報告



8月26日・9月3日・9月16日に委員会を開催した。

## 1 審査事件

### 陳情第1号

「コロナ禍における私立高校生の学びを保障し私立高校の教育環境整備をはかるため、私学助成増額・拡充を求める意見書」の採択を求める陳情

私立高校に進学した人数はどうか。

令和2年度末の卒業生268人のうち38人が私立高校に進学した。

※賛成少数で不採択とすべきものと決定。

## 2 調査事件

### ① 魚沼市過疎地域持続的発展計画について

過疎対策事業に対する各種財政措置を受けるために必要となる計画だが、現行の計画が期間を迎えることから、新たな法律に基づき計画が策定されるもの。執行部からは計画案や策定スケジュール等について説明があった。

**問** これまでの計画とどれだけ変わるのか。

**答** 前計画を引き継ぐ形で策定を進めるのか。

めているが、人材確保や施設整備等について追加された部分もある。

**問** 掲載事業に漏れはないか。

**答** 掲載事業は総合計画を基にしていく。そのうち過疎対策として実施し、財政支援を受けるものを掲載している。

**② 魚沼市公立保育園等再編計画(案)及び第二期子ども子育て支援事業計画の見直しについて**

計画の見直しに係る保護者及び市民説明会の状況と計画の成案化に向けた今後の予定について説明があった。

**問** 参加者の中に計画に反対の声はなかったか。

**答** 基本的な再編方針についての反対意見はなかったものと認識している。

### ③ 入広瀬小学校について

保護者や地元関係者を対象として開催された入広瀬小学校の今後に係る説明会及び意見交換の内容について報告を受けた。

### ④ 押印等見直しの実施について

行政手続の市民負担軽減やデジタル化推進のため、今後進められる押印、署名の見直しの概要やスケジュールの説明を受けた。

**⑤ 小中学校における新型コロナウイルス感染症対応について**

**問** 2学期が始まったが市内小中学校の対応はどうか。

**答** 基本的には国から示されたマニュアルにのっとって行っており、新しい生活様式も徹底して行うようにしている。

### ⑥ 財政計画及び定員適正化計画の策定について

どちらの計画も改訂時期を迎えているが、社会情勢や制度改正等の影響により、計画の改訂には今しばらく時間が必要である旨の説明を受けた。

**問** いつまでに改訂できそうなのか。

**答** 早めに作業を進めたいと考えているが、現段階でいつまでというところとは申し上げられない。

### ⑦ 第二次魚沼市総合計画前期基本計画の総括について

令和2年度末で前期基本計画の計画期間が終了したため、各施策における取組の評価について説明を受けた。

### ⑧ 第2期魚沼地域定住自立圏共生ビジョン(案)のパブリックコメントの結果について

南魚沼市、湯沢町とともに魅力ある圏域の形成を図るため、連携して推進する具体的な取組を示した当該ビジョンのパブリックコメントの結果について報告を受けた。

**⑨ 所管事務調査について**  
調査課題について協議した。

### 3 現地調査

解体が予定されている旧堀之内子育て支援センター及び来年度開園が予定されている私立保育園の建設予定地を視察した。

旧堀之内子育て支援センターについては、アスベストに対する近隣への丁寧な対応を望む意見と、私立保育園建設予定地については、交通量や消雪パイプ、用水路等周辺環境の危惧とその改良を望む意見が出され



旧堀之内子育て支援センターの視察の様子

## 産業厚生委員会報告



8月30日・9月17日に委員会を開催した。

### 1 審査事件

#### 請願第4号

紹介議員欠席のため、執行部に確認の質疑を行い、討論の後、採決を行った。

**問** 事業者への支援は行っているが、困窮している個人に対しての支援は行っているか。

**答** コロナ禍で収入が減る人に対する住居費の支援として住居確保給付金というものがあるが、コロナ禍以前は申請がなかったものが増えている。生活保護についても申請者が増えている。

**問** 市内のフードバンクの利用はどうか。

**答** 社会福祉協議会が取りまとめを行っている。それ以外にもひとり親世帯への米の支援を行っている。

※賛成少数で不採択とすべきものと決定。

#### 議案第96号～99号

※原案可決すべきものと決定。

### 2 調査事件

① 市民福祉部の事業進捗状況等について報告を受けた。

斎場建設瑕疵担保請求に係る債権放棄後の対応の経過、養豚団地の臭気対策等について報告を受け、質疑を行った。

② 産業経済部の事業進捗状況等について報告を受けた。

各スキー事業者との協議、須原スキー場索道施設復旧工事等について質疑を行った。

③ 新潟県後期高齢者医療広域連合議会の結果報告を行った。

④ 魚沼ものづくり振興協議会との懇談について協議した。

⑤ 所管事務調査について調査課題について協議した。

#### 3 現地調査

現地視察に先立ち、視察先の両施設の概要について担当者から説明を受け質疑を行った。施設の耐久年数、現在の使用状況、過去に発生した水害の状況などについて質疑があった。また、今後の方針について、利用者等からの意見聴取について質疑した。

① 旧堀之内病院療養病棟（堀之内社会福祉センターを含む）について施設が新しく健全に保たれており、

特別浴室、給食調理場等の設備が整っているのを確認した。

現在不足している特別養護老人ホームなどに転用するのが最も望ましいとの共通の認識だった。しかしこれからは個室が求められるため、現在の50床が25床程度と制限されるため、増床や改築が必要。1階部分の堀之内社会福祉センターは、所有者である魚沼市社会福祉協議会の意思決定を尊重し、今後の協議を見守ることとした。

② 堀之内老人憩の家について 築後、年数が経過し古いものの、管理もされており、木造平屋の建物は趣があり安らぐとの評価もあったが、水回りやトイレ、照明など現行にそぐわない設備のため、早急な建替を望む意見があった。また、水害



堀之内老人憩の家の視察の様子

の危険性、冬季除雪の問題などがあるため、ほかの空き施設に移転を望む意見もあった。

## 広報広聴特別委員会報告

8月23日・9月3日・9日・17日・10月1日・5日・8日に委員会を開催した。

#### ●中学生議会について

委員長、副委員長による事前講義を7月27日に開催した。今年度の担当校は魚沼北中学校3年生で、リハールを11月16日、開催日を11月19日とした。当日の保護者のモニターでの視聴やYouTube配信について検討した。

●市民の声を聞く会（議会報告会）について

日時を11月4日（休）午後7時から9時、会場を堀之内公民館大ホール、内容を市民と議員による意見交換とし、意見交換についてはテーマ別に4グループに分かれることとした。

#### ●委員会映像配信について

8月に録画試行を行い、9月に開催される常任委員会からYouTubeによる映像配信を行うこととした。

# 市民の声

## 市内のスキー場について 思うこと

上原 目黒優平さん

「市議会だより」を読んでいると、市内のスキー場の今後の運営に関する記事が目にとまります。ここ数年では大原スキー場、大湯温泉スキー場が営業終了になっています。

私も若い頃から市内のスキー場でスキーをしてきました。そのスキー場が営業終了になってしまい、もう滑ることができないと思うととても残念です。

毎年市内のスキー場に滑りに行く時、スキー、スノーボードを楽しむ子どもたちの姿があります。雪が降る中でも子どもたちは元気いっぱい滑っています。ポールをセットし、熱心に滑り込むジュニアレーシングの子どもの姿もあって、練習に励み、全国大会で活躍している選手もいます。これからも子どもたちが市内のスキー場で楽しく滑走している姿を見ることができるよう切に願っています。

## 試される地力



小出本町  
櫻井一崇さん

都内での旅行会社での勤務を辞め、6年前に魚沼市に帰郷しました。帰郷した理由は大小ありますが、大きな理由は「魚沼市にスキー場があるから」魚沼市は約6カ月間、自然降雪の上を滑走（ウインタースポーツ）をすることのできる全国的に見ても稀な地域です。私は「市民のスキー場を考える会」の副代表として、市内スキー場がこの街に与えてくれている正しい価値を伝えるために、また、これからのスキー場の新たな可能性を見出し、形にするため活動しています。

密な屋内、県外への旅行や移動が厳しい疫病の渦中、地元の当たり前にある場所、物、事柄をいかに魅力と捉え、工夫できるか。害と見るか、魅力と見るか。地力が試されています。これからも信頼できる仲間と共に、私なりに工夫し、発信していきます。

## 11/4 市民の声を聞く会

— あなたの声を聞かせてください —

### 第2回議会報告会

感染症対策に十分留意したうえで「市民の声を聞く会」を開催します。今回は初めて、グループに分かれて少人数での意見交換会を実施します。より1人1人と向き合って率直なご意見をお聞きし、今後の議会活動に反映していきます。予約不要ですので直接会場にお越しください。

日時 11月4日(木) 午後7時～午後9時ごろ

会場 堀之内公民館大ホール

※当日はこの議会だよりが資料となりますので、お持ちください。  
市内の感染状況によっては中止します。



## わが校 自慢

を称え合い、全校一丸となって校歌を歌いました。今年度も様々な活動を通して、さらに団結力のある学校にしたいです。

小出中学校は、元気があり団結力がとても強いです。今年度の体育祭では、感染症対策をとりながら各学年で工夫を凝らした競技が行われました。また、競技後に互いの健闘



## あとがき

9月30日、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が全面解除され、10月5日現在、全国の感染者数は982人と激減しました。魚沼市のコロナワクチン接種状況は、12歳以上の2回接種率は9月末現在、83・4%です。激減した理由は定かではありませんが、ワクチン接種と基本的な感染予防対策が功を奏してきたと感じます。

魚沼産コシヒカリの新米をはじめ、里山の紅葉・魚沼の宝巡り等、魚沼の秋を満喫できる季節です。これからは国、県、市による観光支援事業が行われ、魚沼の秋を求めて観光客が訪れるなど、日常生活に活気が少しずつ戻ってくると思われまます。基本的な感染防止対策を行いながら、疲弊した地域経済を市民の力で立て直しましょう。

(横山正樹)